

## 2 人事管理

### 【現状と課題】

現在の役職員体制については、100ページの別表1「役職員体制図」に示しています。第1章の組織運営でも述べていますが、組織体制は、事業展開や財政状況等に依りて柔軟に対応しなければなりません。そうした中で組織運営に必要な職員数を割り出し、職員の採用や配置をしています。また、組織体制強化や職員の向上心を保つため、必要に応じ昇任・昇格試験の実施や異動希望届出制度を実施しています。こうした職員採用や昇任・昇格に係る試験には、社協の役員が評価者となっており、より客観的な視点で公正・公平に選考しています。しかし、ここ数年は、組織運営の実態に合わせ職員採用や昇任・昇格に係る試験は実施されていません。異動についても社協では、少ない部署間での異動となるため、本人の希望どおりにいかないのも実情です。

### 【今後の取り組み】

職員採用や昇任・昇格に係る試験が見送られたり、本人の希望どおりにいかない異動が続くと、職員に停滞感や不満感が生じ、モチベーションの低下が懸念されます。少しでもこれらを解消するため、社協の経営に携わる者は、毎年度の組織目標を職員全体に伝え、人事考課に伴う職員面接等で個々の職員と十分対話する等、日頃から意思疎通を十分に図る必要があります。また、それぞれの職員が、職場内の規律や風土が乱れないように気を配り、各種ハラスメントに対し互いに監視役になる等、職場環境を良好に保てるような対策も重要です。

